

令和3年2月10日

愛知県上海産業情報センター

林 秀 幸

### 一般調査報告書

## 中国における新型コロナ第2波の到来について



2021年1月21日、新型コロナの感染者が確認され封鎖された上海市内の小区（出典：東方網）

1月21日、上海市内で約2か月振りとなる新型コロナの新規感染者が確認されました。中国国内では、昨年12月以降、遼寧省、黒龍江省、河北省など北部を中心に各地で感染が確認されており、感染の第2波（中国では第2波）の到来と言われています。そうした中、上海市で新たな感染者が確認され、市内は一気に緊張感が高まりました。

中国では、基本的に、国内の感染者をゼロにすることを目的とした政策がとられています。このため一人でも感染者が発見されると、当該個人の過去の行動履歴から濃厚接触者の洗い出しが始まり、瞬く間に数百人、数千人といった人々の健康観察管理が始まります。感染者が確認されたコミュニティやビルは封鎖され、そのエリアは中リスク地域または高リスク地域に指定されます。

中国では、感染のリスク地域を低・中・高と3つに分類しており、中・高リスク地域に分類されると大幅な移動制限の対象となります。当初はリスク地域

の単位が市や区全体であったため、社会全体の活動に大きな影響を及ぼしていましたが、最近では小区（コミュニティ）単位やホテル、ビル単位でリスク地域指定がされるなど細分化されてきました。このため、同じ上海市内で感染者が発生しても、中・高リスク地域に指定されたエリアに立ち入っていなければ移動等の制限を受けることはなくなりました。基本的には低リスク地域の住人は他の低リスク地域への移動が制限されることはありません。このようにリスク地域を細かく指定し、人々の移動制限を可能な限り自由にすることで、感染の拡大抑制と経済活動の停滞回避を図る政策がとられています。

しかしながら、今回の第2波の到来は、折しも中国の春節（旧正月）を控えた時期と重なり、本来であれば自由に行き来ができるはずの低リスク地域から低リスク地域への移動であっても難しい状況となりました。

例年であれば、春節期間は1年のうちでも最も人の移動が多い時期であり、多くの人々が都市部から地方に里帰りをする期間です。春節(2/12)前後の約40日間は「春運」と呼ばれ交通機関は特別の体制を組みます。今年の「春運」期間の国内移動者数は延べ17億人と試算されていました。しかし、感染第2波の影響を受け、政府は春節期間の地方への不要不急の移動を控えるよう呼びかけたことから、春節期間中の国内移動者数は11.5億人に下方修正されました。

春節の移動抑制のため、現地のテレビやラジオでは「春節は今いる場所で過ごす」といった呼びかけが頻繁に流され、帰省しない従業員に対して企業や地方政府が報奨金を支給したり、公共交通機関のチケットのキャンセル代を無料にしたり、都市部の観光施設や公共施設は春節も休まずに営業するなど、あらゆる方策で人々の帰省を抑制する試みが取られています。

中国国内の感染状況は、春節を目前に控えピークを越えつつあり、このまま春節期間中の人の移動が大幅に制限されれば、第2波が再び拡大することはないように思われます。ただ、海外では依然として感染の拡大が続いており、新たな変異株の発生も次々と報告されています。そうした中で、外部から侵入してくるウイルスを水際対策だけで防ぎ続ける状態には限界があるのも確かです。

いま、そうした状況を打開するための切り札として最も期待されているのは、やはりワクチンです。世界中で新型コロナウイルスに対するワクチン接種が最大の関心事となっていますが、中国国内でもワクチンの接種は着実に進められています。

1月9日、中国政府は国民のワクチン接種費用を無料にすると発表しました。春節前の国民への今年最後のプレゼントとして話題になりましたが、現在は、緊急接種の必要な人々、医療関係者や輸入検疫担当者、交通関連従事者などの接種が行われており、すでに国内で1,000万人以上の接種が完了したと報じられ

ています。現在、国内で開発されている数種のワクチンが正式に認可されれば、一般国民への接種も本格的に開始されるものと思われます。ただし、中国に在住する外国人については、まだ対象とはなっていないようです。

国内で先行して接種対象となった人々が増えるにつれ、知り合いも接種を終えたい、といった身近な人の接種経験なども聞かれるようになり、ワクチン接種に対する人々の期待感や、拙速な接種に対する不安の声など様々な意見が飛び交うようになりました。

いずれにしても、例えば国全体にワクチンが行き渡り、いわゆる集団免疫を獲得できる状態になるには、まだまだ時間を要することは確かです。国をまたいだ人の往来の回復がどうすれば実現するのか、今後も状況を注視していきたいと思います。

## 参考：最近の中国内の主な動き

2021年

- 1月12日 ・上海市は、同日午前0時までに、医療関係者など60万2,000人への新型コロナウイルスワクチンの緊急接種を完了したと発表
- 1月13日 ・中国自動車工業協会は、2020年の中国の新車販売台数が年比1.9%減の2,531万1,000台だったと発表（3年連続減少）
  - ・上海市は、感染対策の新たな措置として、不要不急の市外への移動や海外渡航を自粛し、春節期間は上海市内で過ごすことを奨励
- 1月14日 ・WHO調査団が湖北省武漢市に到着。14日間の隔離開始
  - ・中国国家衛生健康委員会は、河北省で新型コロナの感染者1人の死亡が確認されたと発表（中国本土では昨年5月16日以来）
- 1月18日 ・中国国家統計局は、2020年の実質国内総生産(GDP・速報値)が前年比2.3%増と発表
- 1月20日 ・新型コロナのワクチン開発で各国が共同出資・購入する制度「COVAX(コバックス)」に、中国製薬大手3社が参加申請
  - ・日本政府観光局(JNTO)は、2020年の訪日中国人旅行客数が前年比88.9%減の106万9,200人だったとの推計を発表
  - ・中国国家衛生健康委員会は、春節期間に地域をまたいで移動する農村部への帰省者に7日以内のPCR陰性証明を求めると発表
- 1月21日 ・北京市は、新型コロナウイルスワクチンの重点接種対象に対する1回目の接種を19日までに完了（累計190万人）
- 1月25日 ・中国政府は、春節期間中に国民は今いる場所で過ごすよう求める通達を発出
- 1月26日 ・中国民航局は、春節に伴う交通機関の特別体制「春運」（1月28日～3月8日）の航空券の払い戻しや変更に27日から無料で応じるよう

航空各社に通知

1月28日 ・「春運」開始（～3月8日）

2月 2日 ・在日本中国大使館は、中国入国ビザの申請時に指紋採取を義務付けると発表

中国の国内感染状況：累計感染者数89,748人（2月10日現在）

累計死者数4,636人（〃）

※ 感染者数の数値は、中国国家衛生健康委員会の各日24時現在の公表データによる。なお、「国内」には香港、マカオ、台湾は含まない。

上海産業情報センターでは、今後も中国の現地情報を提供して参ります。

本資料は、参考資料として情報提供を目的に作成したものです。

上海産業情報センターは資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力していますが、その正確性を保証するものではありません。本情報の採否は読者の判断で行ってください。

また、万一不利益を被る事態が生じましても当センター及び愛知県等は責任を負うことができませんのでご了承ください。